

2023年1月30日
ユニバーサル マテリアルズ インキュベーター株式会社

UMI3号脱炭素投資事業有限責任組合の設立について

ユニバーサルマテリアルズインキュベーター株式会社（以下、「UMI」）は、本年1月1日をもって、17億円強の出資約束規模にてUMI3号脱炭素投資事業有限責任組合（以下、「UMI脱炭素ファンド」）の設立及び1次締切りを行いました。今後、30億円超を目途に出資約束規模を拡充していく予定です。

日本の素材・化学産業は、製造業全体における出荷額や付加価値額の比率が他の産業を圧倒しており、これまで多くのイノベーションが日本企業から創出され、他の産業の発展を支えてきました。しかし、他の産業に比べて足の長い研究開発期間が必要であることに加え、これらを支える多額の資金や、事業推進のために専門的知識を有する人材が必要であることから、アカデミア、ベンチャー、大企業等が有する将来有望な萌芽期の技術・事業と最適なパートナーのマッチング、事業化が難しいという課題があります。

UMIは、これらの課題を解決する為、2016年1月に最初の運営ファンドであるUMI1号投資事業有限責任組合(以下「UMI1号ファンド」)を立ち上げ、2019年4月にはUMI2号投資事業有限責任組合(以下「UMI2号ファンド」)を設立しました。これまで1,000件近い案件発掘を行い、UMI1号ファンドでは12件に投資し、UMI2号ファンドでは17件に投資しています。素材・化学産業の事業化において課題となる、多額の資金が必要な製品開発から生産技術のステージに、UMIは適切なリスクマネーの供給とハンズオンによる経営支援を行っています。加えて、量産のステージでは、ベンチャー企業が大企業のリソースを有効活用出来るよう、積極的な連携を図っています。

そして、2022年10月にUMI3号投資事業有限責任組合（以下、「UMI3号ファンド」）を設立し、素材・化学産業のベンチャー、アカデミア、大企業が保有する優れた技術や新事業の受け皿となり積極的な事業化の支援を行う、素材・化学産業における新事業創出プラットフォームの確立を目指した活動を続けています。今回、このUMI3号ファンドの姉妹ファンドとしてUMI脱炭素ファンドを設立し、素材・化学の技術がキーソリューションとなることが多い脱炭素分野への技術・事業への投資を強化し、素材・化学産業以外の事業会社にも参画頂く事で、産業を超えたイノベーションの創出を目指します。また、UMIは2021年6月に国連の責任投資原則(UN PRI)の署名機関となり、UMI3号ファンド及びUMI脱炭素ファンドでは、ESG課題を考慮した投資活動を進めてまいります。さらに、日本、アジアを機軸にグローバルな新事業創出

を目指してまいります。

ここに、UMI3 号脱炭素投資事業有限責任組合の設立に尽力下さった数多くの関係者の皆様に心より御礼申し上げますとともに、今後とも UMI をご支援頂きますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

UMI3 号脱炭素投資事業有限責任組合

所在地 : 東京都中央区築地 1 丁目 12 番 22 号
無限責任組合員 : UMI3 脱炭素有限責任事業組合
組成日 : 2023 年 1 月 1 日
出資約束金額 : 1,710 百万円 (2024 年 3 月末まで募集継続予定)
組成目的 : 素材・化学産業における脱炭素領域ベンチャーへの投資及び育成
出資者 : 山九株式会社
(一次締切時点) 三洋貿易株式会社
清水建設株式会社
神鋼商事株式会社
株式会社日本政策投資銀行 (以上 5 社/順不同)

ユニバーサル マテリアルズ インキュベーター株式会社

本社所在地 : 東京都中央区築地 1 丁目 12 番 22 号
代表取締役 : 木場 祥介
設立 : 2015 年 10 月 6 日

UMI は「優れた素材・化学企業の育成を通して、日本の技術力を強化し、世界に通用する産業構造を醸成する」というビジョンの下、日本企業やアカデミアが保有する、将来の産業の礎となるような優れた素材・化学分野における新技術・事業への投資活動を行っています。

(本発表資料の報道機関のお問い合わせ先)

ユニバーサル マテリアルズ インキュベーター株式会社 担当・山本/石原
東京都中央区築地 1 丁目 12 番 22 号 コンワビル 4 階
電話 : 03-5148-5241
メール : info@umi.co.jp